

新潟市キャリア・スタート・ウィーク事業の取組

1 事業概要と本報告書の構成

文部科学省は、平成17年度から「キャリア教育実践プロジェクト」を開始した。

当市は、平成17年4月に、このプロジェクトの中心事業である「キャリア・スタート・ウィーク推進地域」の指定を受けた。指定に当たり、新潟市中学校校長会、新潟市中学校教育研究協議会等の協力を得て、市立中学校10校から実施校を務めてもらうことにした。また、労働関係の各機関と連携する実行委員会組織を設けた。

「新潟市キャリア・スタート・ウィーク実行委員会」は、同時に設けられた「新潟県キャリア教育実践プロジェクト支援会議」の指導を受けて、具体的な事業推進に当たってきた。

(1) 5日間以上の職場体験学習実施中学校 10カ校

舟栄，大形，松浜，濁川，両川，赤塚，中野小屋，木戸，新津第五，木崎

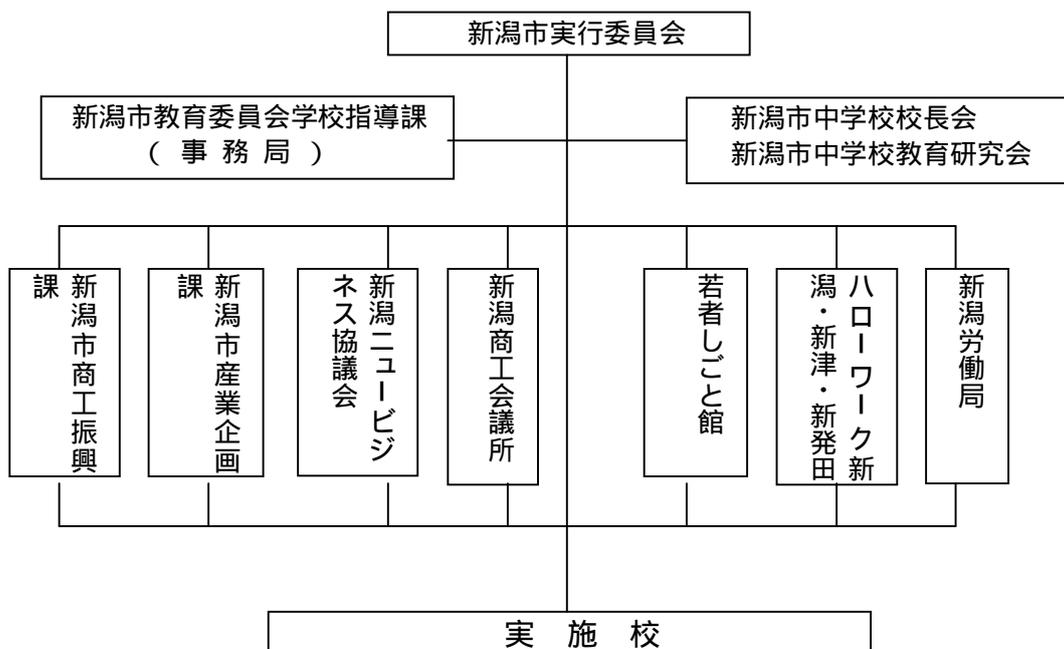
実施時期やプログラム等の統一は行わず，実施校は各校の計画に基づいて職場体験学習等を行うこととした。

- ・5日連続が望ましいが，分割実施も可。
- ・事前・事後の訪問，マナー研修等も体験日に加えることができる。

(2) 「新潟市キャリア・スタート・ウィーク実行委員会」の組織・研究テーマ

実行委員会の構成員

労働局，ハローワーク（新潟，新津，新発田），若者しごと館，
中学校校長会，中学校教育研究協議会，商工会議所，新潟ニュービジネス協議会，
新潟市産業企画課，新潟市商工振興課，新潟市教育委員会



キャリア・スタート・ウィーク推進地域（新潟市）の研究テーマ

市立中学校が地域と連携して生徒の職業観・勤労観を高め、将来への夢をもたせる指導方法の開発研究

研究において特に重点を置きたいところ

- A 職場体験学習を支援する組織づくり・システムづくり
- B 職場体験学習を核にしたキャリア教育のプログラムの開発
- C 職場体験学習の前・後における生徒の変容の把握

(3) 実行委員会の主な活動

中学生の職場体験受け入れ促進を目指して、リーフレットを制作し、商工会議所、労働局、新潟市商工振興課、新潟市産業企画課などを通して、市内の企業等に協力を依頼し、約9,000枚配布する。

労働局の「職業意識形成支援メニュー」を紹介し、活用を勧める。

- a 職業レディネステストの実施
- b 職業講話やマナー研修の講師の紹介、派遣
- c 職場体験期間中の賠償責任保険への加入

各校の「職場体験」の前後に、10校に同形式の意識調査（アンケート）を実施し、その変容を把握する。

生徒の受け入れ事業所等からの感想と、次年度以降の協力見込みを集約する。

10校全ての実施が終了した後に、教育委員会等が主催して、中学校関係者、企業関係者、保護者、一般市民向けの「新潟市キャリア・スタート・ウィーク実践発表会」を開催する。

(4) 報告書の構成

この冊子では、まず、「新潟市キャリア・スタート・ウィーク事業の取組」で、実施校10校の実践概要と生徒の学習成果を報告する。

次に、10校で職場体験学習に参加した生徒全員を対象とした意識調査（アンケート）の結果から、職場体験学習の前・後における生徒の意識の変容を報告する。

また、「資料」では、まず、国におけるキャリア教育の最近の動向をまとめてみた。

次に、実施校10校の取組を振り返って、実行委員会が、職場体験学習の指導計画（主に事前学習・事後学習のプログラム）（案）を提案する。最後に、実行委員会が、職場体験学習を実施する際の留意事項をQ & A形式に整理したものを紹介する。